

平成28年度 第5回 総会

◇日 時：平成29年2月23日（木）

◇場 所：上伊那教育会館講堂

《 次 第 》

- 1 開 会
- 2 上伊那教育会の歌『仰望』
- 3 会 長 挨 拶
- 4 信濃教育会第20回教育研究論文教育実践賞贈賞式 及び 研修会
- 5 報 告
 - (1) 信濃教育会常任委員会 報告
 - (2) 信濃教育会総会 報告
 - (3) 上伊那教育会理事会 報告
- 6 議 事
 - 【第1号議案】 「平成29年度上伊那教育会事業計画（案）の承認」に関する件
 - 【第2号議案】 「平成29年度上伊那教育会収支予算書（案）の承認」に関する件
 - 【第3号議案】 「平成29年度上伊那教育会資金調達及び設備投資の見込み(案)の承認」に関する件
- 7 諸 連 絡
 - (1) 平成28年度教科等研究委員会のまとめの冊子について
 - (2) 「定款・諸規程(第3刷)」について
 - (3) 平成29年度教育会新規加入・リーフレットについて
 - (4) 平成29年度教育関係年間計画について
 - (5) 平成29年度教育会各種委員推薦について
 - (6) 平成29年度年度役員選挙について
 - 役員等候補選出委員の確認
 - 年度当初の選挙事務について
 - (7) 平成29年度教科等教育研究会加入について
- 9 議長退任挨拶
- 10 閉 会 挨 拶

小林 克彦 会長 挨拶



○本総会は、本年度最後であり、次年度へ向けての事業計画や予算案等を審議する会となる。来年度も会員の声を大切にしながら、研修の在り方の検討や公益事業を進めていきたい。

○本年度は、テーマ「出会う・かかわる・つなぐ」の具現に向けて取り組んできたが、上伊那教育会が未来に向けて持続発展できるように、ライフステージに応じた研修事業を位置づけた会員のためのシステムを構築したり、財務の健全化や助成の適正化を検討したりしてきた。

また、各事業においても会員が必要とし主体的に参加したいという活動が展開されているかという観点から、事業の改善に取り組み、参加者も大幅に伸びた。

○上伊那教育会は、多くの事業を主体的に行い、その事業が充実している。それは、上伊那の教職員が子どものためにと一生懸命学んでいること、校長会・長頭組・組合・PTAとも連携していること、公益社団法人として市町村から信頼されていることがあるからである。今後も、自信と自負をもって上伊那教育会の更なる充実発展を目指していきたい。そのためには、より多くの会員が参加参画し、共に学び合い共に育つ教育会でなくてはならない。本年度、近年最多の会員が加入し、代議員の皆様には多くの会員が参加参画できるように、働きかけていただいた。今後も引き続き加入の促進にご尽力をお願いしたい。

信濃教育会 第20回教育研究論文・教育実践賞 授賞式及び研修会

信濃教育会第20回教育研究論文・教育実践賞を受賞された先生方に、本多会長から賞状の贈呈があり、受賞された先生方に実践レポートの概要をお話しいただきました。その一部を抜粋してお届けします。受賞、おめでとうございます。

【個人の部 準特選】

☆鈴木 崇晃 先生（東部中）

「中学校における総合的な学習の時間の取組を通して、生徒や教師は何を感じ、学んでいくのか ～御柱の学習への取組を通して～」

本日は、このような賞をいただき、ありがとうございます。私がこのような賞をいただくことができたのも、時に厳しく的確なご指導をいただいた東部中学校の先生方、クラスの活動を温かく見守っていただいた保護者や地域の皆様、そして何より「材」に真正面から向き合い続けた子どもたちのお陰だと思っています。私は子どもたちの活動を文章にまとめただけです、子どもたちの活動無くしてはこのレポートを書くことはできなかったと思っています。そんな子どもたちとの出会いに感謝しながら、お礼の挨拶とさせていただきます。



議事より

- 【第1号議案】 「平成29年度上伊那教育会事業計画（案）の承認」に関する件
- 【第2号議案】 「平成29年度上伊那教育会収支予算書（案）の承認」に関する件
- 【第3号議案】 「平成29年度上伊那教育会資金調達及び設備投資の見込み(案)の承認」に関する件

いずれも承認されました。

※詳細は代議員の手元にありますのでそちらをご覧ください。

閉会挨拶（矢澤 淳 副会長）

- 東部中学校鈴木崇晃先生の発表では、内から育つ子どもたちの姿に感動した。受賞論文を多くの会員に読んでほしい。
- 本総会では、来年度の事業計画並びに収支予算書が承認され、来年度に向けての準備を進めていくことができる。
- 「教育は人なり」というが、私たちが「先生」呼ばれるのに、相応しい人として成長できるような研修事業になっていくよう、さらに努めていきたい。代議員の皆様には、これからも多くの会員が主体的に教育会の諸事業に参加参画できるように、声かけをお願いしたい。

